



胆石は、肝臓から分泌される胆汁の成分が固まって胆道に溜まったものです。胆石の出来る場所によって名称が変わり、胆嚢に出来るものを胆嚢結石、総胆管に出来るものを総胆管結石、肝臓に出来るものを肝内結石と呼びます。

胆石の治療法にはどのようなものがありますか？

A 胆嚢結石に対する治療は胆嚢を摘出する外科的手術ですが、最近は腹腔鏡を使った胆嚢摘出術が主流です。体に対する負担が少ないため、手術後1週間前後で通常の生活が送れるようになります。このように負担が少なく完治できるため、体外から衝撃波を当てて胆嚢内の結石を破砕したり、胆石融解剤を内服する治療は行われなくなってきています。なお、総胆管結石や肝内結石に対しては、お腹を切らずに内視鏡を使って結石だけを除去することができます。

健康診断で胆石を指摘されました。特に症状もないので、このまま放置しておいてもよいですか？

A 症状のない胆嚢結石に対する治療は不要です。ただし、症状がなくても3cm以上の大きな結石や陶器様胆嚢・膵胆管合流異常といった病気を合併している場合には、胆嚢癌が発生する可能性が高いことが分かっているため、胆嚢摘出術が必要です。一方、胆嚢結石による腹痛（胆石発作）は、半数以上で症状が再燃します。同じ症状で苦しみたくないう方には、予防として胆嚢摘出術をお勧めします。また、胆石発作のほか急性胆嚢炎が発症した場合や総胆管結石・膵炎などを合併した場合には、その治療を行ったのちに胆嚢摘出術を行う必要があります。

胆石発作を起きにくくする方法はありますか？

A 胆石発作の予防には食事のカロリー制限、特に脂肪分の摂取を制限することが有効です。脂肪分の多い食べ物として、うなぎ、マグロ、サバ、卵黄、豚肉、牛肉、ソーセージ、マーガリン、マヨネーズ、フレンチドレッシング、落花生、天ぷら、唐揚げなどが挙げられます。これらの食べ物は胆嚢を収縮させるため、胆石発作の原因になります。また、アルコールの摂取は胃液の分泌促進や過食の原因になり、胆嚢を収縮させるので避けたほうがよいです。

私の胆嚢は働いていないと言われました。どうしたらよいですか？

A 胆嚢内に結石が充満していたり、胆嚢頸部に結石が陥頓していると、胆嚢の機能がなくなります。また、胆嚢癌の合併を否定できない場合も多いため、胆嚢摘出術をお勧めします。

胆石を持っていると胆嚢癌になるといえるのは本当ですか？

A 胆石に胆嚢癌を合併している確率は1-2%で、胆石を合併していない人よりは、やや高率です。しかし、胆嚢癌の約半数は胆石を合併していないので、胆石と胆嚢癌の関連は明らかではありません。したがって、胆石があるからといって胆嚢癌を心配する必要はありませんが、定期的に腹部エコー検査などを受けて、胆嚢癌の発生を早期に見出す努力は必要です。

今月のドクター



向井 強氏
(むかい つよし)

岐阜市民病院 消化器内科副部長

平成6年岐阜大学医学部卒業
胆道・膵臓疾患に対する内視鏡治療が専門
日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医